

会員各位

2020年8月5日
(一社)日本照明工業会
専務理事 内橋 聖明

G13 口金直管 LED ランプに関する工業会規格基準順守のお願い

会員の皆様には、日頃から工業会活動に格別のご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

G13 口金直管 LED ランプは、既存の蛍光灯器具を手軽に LED 化する手段として市場に普及してきました。その一方で、内蔵された制御装置(電源回路)が寿命末期、誤使用等で故障、異常となった場合に、ランプ内部でトラッキング等による発煙発火に至り、ランプ外郭樹脂チューブや口金等に類焼、ランプが落下するという非常に危険な事故が発生しています(※1)。

G13 口金直管 LED ランプは、口金形状を含む寸法上の互換性はあるものの、電気特性、電気接続方法、寿命、性能、質量などで蛍光灯と異なり、既に市場に存在する蛍光灯用照明器具との組合せにおいて、誤使用の防止及び長期使用における安全性を確保することは極めて困難と判断し、(一社)日本照明工業会(以下、JLMA)は、ランプ交換ではなく、LED 照明器具への交換を推奨して参りました。

しかしながら、この数年 G13 口金直管 LED ランプがより一層市場に普及しつつある状況に鑑み、既存ランプと同一の口金を用いた新しいランプを開発する場合は、既存ランプ用の照明器具との組合せにおいて、設計で安全を確保するべきであることを、2018年7月31日制定の日本照明工業会規格 **JLMA 300**「光源と照明器具との組み合わせにおける設計規範」にて皆様方に周知させて頂きました。更に理事会において、この規範を遵守するための具体的な規格基準、ガイド等の制定検討を指示され、2020年3月13日に日本照明工業会**技術資料 301**「G13/G5 口金・ソケットをもつ直管 LED ランプと照明器具との組合せにおける安全性担保のための設計ガイド」を制定しました。

つきましては、上記設計規範、設計ガイドに基づき、試験方法及び判定基準などについての社内規定を作成頂き、製品設計のプロセスとして運用下さるようお願い申し上げます。

なお、AC 直結タイプの G13 口金直管 LED 光源に関する安全規格を、年内を目途に作成中です。(今秋 10 月にドラフトに対する意見公募実施、11 月に制定予定。)10 月の会員連絡会にて、詳細説明させて頂きまますのでご承知おき下さい。また、2021 年度には、これら安全規格、ガイド等に基づく試買調査を実施するとともに、一般ユーザー啓発のための情報発信を行って参ります。

JLMA としては、今後とも LED 照明器具への交換を推奨して参りますが、G13 口金直管 LED ランプによる LED 化ニーズも増えています。より安全安心な LED 照明市場への移行のため、上記施策にご理解、ご協力頂けるよう重ねてお願いする次第です。

【参考資料】

※1 LED ランプ事故情報 https://www.jlma.or.jp/anzen/jiko/led_jiko.htm